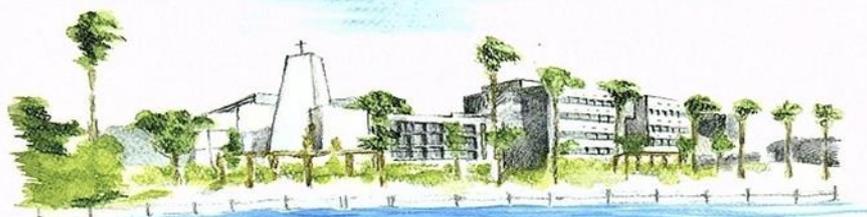


2020年12月8日



キリスト教センター 通信 Vol.26

激励メッセージリレー



タイトル 『イルミネーション』

大学オルガニスト 伊藤 純子 先生

イルミネーションが美しく見えるために必要なことは？それは周りを暗くすることです。同じイルミネーションの光でも、陽が落ちる前と後とでは、輝きが全く違います。

クリスマス、つまりイエス・キリストの誕生日を、教会では「暗闇の中の光」に例えます。暗闇だからこそ存在感を増す光。この光は、年齢、性別、国籍、地位など何でも超えて、もちろんクリスマスチャンかどうかも超えて、世の中の全ての人の上に降り注がれると、聖書に書いてあります。

『その光は世に来て、すべての人を照らすのである。』（ヨハネによる福音書 1章9節）

「私」の中の不安や恐れといった暗闇を照らしてくれる光。せっかく「私」の上にも照らしてくれている光が確かにあるのに、その存在に気付かないでいては、もったいないです。

どうすればその光に気付けるのか。それはやはり、深呼吸してフワリと耳を傾けることではないでしょうか。その気付きはきっと、あなたの背中をそっと押してくれるに違いありません

街を鮮やかに彩るクリスマスイルミネーションは、それを見るどんな人の上にも、同じ輝きを届けています。

キリスト教 一口メモ 「クリスマス ③ ～クリスマスキャロル～」



街にはクリスマスキャロルが溢れています。

キャロルを聴くとなぜ、心がポツとあたたかくなるのでしょうか。それは、クリスマスの象徴である「光」の仕業かも知れません。もともとはヨーロッパや英国で生まれた歌が多いですが、今や日本を含め世界中で親しまれています。国境を超えて老若男女が、キャロルを通して「光」を感じるクリスマスでありますように。

本学 HP トップに、クリスマスキャロルの動画をいくつかあげています。

聴いたことのあるメロディーかも知れません。

皆様のご自宅から、そっと声を合わせていただけますと嬉しいです。

光の相乗効果が生まれます♪



新型コロナウイルスの被害を覚えるお祈り

どうか、皆さんもお時間があるときにお祈りください

神戸国際大学の学生のための祈り

いつくしみ深い神よ、新型コロナウイルスの感染拡大により、困難な日々、孤独な状況、不安の中にあるすべての神戸国際大学の学生のみなさんのために祈ります。

どうか、彼ら彼女ら一人ひとりの心を支え、お守りください。そして私たちに、あなたの知恵と力が与えられ、今できることを考え、神さまの、み心にかなった正しい行動を心がけることができますように。そして、共に心を合わせて、新型コロナウイルスのいちいち早い終息を祈り、求め続けることができますようにお導きください。

このお祈りを、主イエスさまの、み名によっておささげいたします。アーメン

病に苦しむ人のための祈り

慈悲の父、慰めのもとである神よ、現在、新型コロナウイルスに感染し、痛みや苦しみ、不安や悲しみの中にある人のために献げる祈りをお聞きください。

どうか病で困難や不安の中にある人を憐れみ、み恵みによってその体と心を強め、病を癒してください。また、医師と看護する者とを助け導き、その働きを支えてください。

そして、何もできずに不安と悲しみの中で苦しむご家族やご友人、また、私たちの心も神さま、あなたが愛によってお救いください。

主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

離れている大切な人を覚える祈り

愛なる神さま、あなたは、み手を伸べていつも私たちをお守りくださいます。どうか、遠く離れて暮らす家族や友人を様々な困難な状況からお守りください。

そしてこの不安定な世界において、必要な糧が与えられますように。心と体が守られ、健やかに日々を過ごすことができますように、どうかあなたがお支えください。

また、不安の中で医療に従事する人々のために祈ります。どうか一人ひとりの働きが祝福され、感染者の回復を助け、支える力をお与えください。そして彼らが感染から守られ、新型コロナウイルスの終息に向かうことができますように。

この小さなお祈りをイエスさまによってお願いいたします。アーメン

昼の礼拝にぜひお越しください！

新型コロナウイルスの影響で休止していた、昼の礼拝を
10月20日（火）から再開いたしました。

昼の礼拝詳細

毎週火曜日と金曜日

12時 45分～12時 55分

キリスト教センター玄関エントランスに於いて。

内容：お祈り、聖書、メッセージ。

感染症対策のため、マスクの着用をお願いいたします。礼拝に出席したことのない方でも、大歓迎です。皆さまのご参加を心からお待ちしております。

神戸国際大学
キリスト教センターの
HPリンクはこちらまで

